



# PRO-LIFE NEWS

(中絶に反対する運動)

〒780 高知市新本町一丁目七番三十一号

太陽の光のなかで

みんな安心しきっています

太陽のあたたかい光のなかで  
じぶんがじぶんであることに

ウサギでも

小川でも

タンポポでも

アメンボウでも

雲でも

ツバメでも

にんげんでも

イチヨウの木でも

おかあさんのおなかの中にいる

赤ちゃんのように・・・

引力のヘソノオに

しっかりとつかまえてもらって...

ヘソノオからきこえてくる

神さまの子もりつたに

みんなみんなうつとりと

どんなにすばらしい明日が

待っていてくれるのかも知らないで...

まど・みちお詩集 『宇宙のうた』 / 銀河社



## 家族で見ました

いつもプロ・ライフ  
ニュースをお送り頂きあ  
りがとございます。この  
ニュースを配るだけでも  
現実の難しさにぶつかり  
ます。本当にご苦労さま  
です。

神様はこの運動をして  
いく上でのすべての重荷  
をご存知できつと祝福し  
報いて下さることでは  
う。

娘が年頃になって、とは  
言っても14才ですが、もて  
て(?)ボーイフレンドも  
何人かいるようになって、  
母親である私は性教育も  
ろくにしていないし、した  
ような気もするが、貞節を  
守らせるのにちと自信が  
なかつたので、聖霊病院の  
シスターから『沈黙の叫  
び』『いのち美しいもの』  
『新しい生命を守るため  
に』を借りてきて、小学6

年、中3、高1の3人の子  
に見せました。小6の男の  
子には刺激が強いかな？  
と思いましたが、写真も以  
前見せていたので親の思  
いと違って冷静に見てい  
ました。子供たちの最初の  
言葉は、赤ちゃんがかわい  
そうでした。

9才、6才、3才の子に  
は胎児の赤ちゃんがぴよ  
こぴよこ布団の上で(羊水  
の中で)跳んでいる様子や  
ハイハイで四つん這いに  
なったり、背のびしたり、  
そんなお腹の様子を見せ  
たら、「かわいい」と言っ  
て歓声をあげていました。  
私が感じたことは、多く  
の人に見せたいビデオだ  
と思いました。私たち人間  
は、知らずに愚かな大きな  
過ちを犯しているのだと  
思いました。でも、神様は  
人間に良心をつくられた  
から、このビデオを見て真  
実を知ったら、胎児が人間  
であることを知ったら、  
きつと殺すことはできな

いと思いました。良心が正常ならば。一人でも多くの人が、胎児が人間であることを知って欲しいと思いました。

万物の創り主である神様は、人間が見えない命を、自然を破壊していることをどんなに悲しんでいらっしやることでしょう。ああ、なんてことをしているんでしょう、命を救うはずの医者と命を育むべき両親の同意でこんなことを…ビデオを見た時の私のため息…。手紙を書きながら思いついた言葉です、悪との戦いだと思いました。

『主により頼み、その偉大な力に支えられて強くなりなさい。悪魔の策略に対抗して立つことができるように、神から与えられた武器を身につけなさい。…真理を帯として腰に巻き、正義を胸当てとして着け、平和の福音を告げる準備を履き物としなさい。』

い。なおその上に、信仰を盾として取りなさい。…救いを兜として頭に受け、神の言葉を霊が与える剣として持ちなさい。どのよ

うな時にも、神の霊に助けられて祈り、願いを求め、すべての聖なる人たちのために、絶えず目を覚まして根気よく祈り続けなさい。』

(エフェソ人への手紙 6:10-18)

南山教会 Tさん

## いやしの過程

このメッセージは中絶の精神的ショックに苦しむ人々のためのものです。これはあなたと同じように苦しんだ経験のある人が書いたものです。この筆者はあなたがまさに必要としている完全ないやしを受けたい人です。

1・勇気を出して  
事実を認める。

見つけることができるの  
でしょう。

あなたの罪を否定して  
いては決して救われること  
はないでしょう。自分が  
間違った決断をし、今その  
ために苦しんでいるのだ  
と認識するには勇気が必  
要です。中絶をした病院、  
またあなたに中絶をすす  
めた人々はおそらく苦し  
んではいないでしょう、た  
だあなただけが苦しみを  
受けているのです。

## 2・許し

中絶は神に対する罪で  
す。父である神に対してあ  
なたの罪を認めて下さい。  
そうすれば神はあなたを  
許して下さいます。(詩編  
103:8-14)心をこめて  
神に祈り、あなたに注がれ  
るその愛と慈しみを深く  
考えて下さい。心の中で、  
あなたに手を差し伸べて  
いる神をみて下さい。

(テトスへの手紙 3:5)

3・すべてを吐き出す

自分が助けを必要として  
いることを認めるのは  
勇気のいることです。あな  
たは中絶をする決心をし  
ました。その時はただ中絶  
をするだけのことのよう  
に思えたと思います。それ  
ではなぜそんなに罪の  
意識に苦しむのでしょうか。  
どうしたら今の苦しみの  
後に、苦しみを乗り越えた  
強さと平和、新たな自分を

いあなたが、他の誰でもな  
いあなた自身が、つぼみの  
ような生命を死に至らし  
めたのだと認めて下さい。  
どのような状況であった  
にしろ、中絶は間違った行  
為だったのです。あなたの  
後悔、罪の意識良心の呵責  
はすべて誤った行為の結  
果なのです。けれどもあき  
らめてはいけません。希望  
はあります。

もう待つのはやめて下  
さい。もしあなたが失った  
子供への悲しみを抑圧し  
ているのなら、今すべてを  
吐き出して、イエス・キリ  
ストの御前で泣いていい  
のです。キリストの許し  
は、あなたが、混乱するこ  
とを恐れず安心して悲し  
めるようにして下さいま

す。あなたに起こったこと、あなたを傷つけたこと、すべてを一つずつはつきりと主に話して下さい。傷口を完全に開いて、神が中に入り、いやすことができるように。悪夢や子供に関する絶望的な夢、それら

のすべてを神にゆだねて下さい。「涙と共に種を蒔く人は喜びの歌と共に刈り入れる」。主の喜びによってあなたがいやされる時を神にゆだねて下さい。

(詩編94:18-19)

#### 4・あなた自身と

他の人々を許す

あなたは敢えて自分自身を許すようにしなければなりません。神はあなたを許し、そしてあなたはそれによって神を讃えます。自分自身を許すということは感情ではありません。あなたが生涯持ち続

ける決意です。はつきりと声にして祈ります。「私は、私を許して下さい。イエス・キリストの御名によって、私を許します。私は中絶の罪と私に起こったすべてのことを弾劾します」と。

ここで、あなたは自分の気持ちを知る必要があります。あなたの中絶の決定に責任があると思われる人は他に誰がいるでしょうか。怒りや裏切り行為、憤りや苦い思いなどあなたの感情のすべてを祈りの中で主に打ち明けて下さい。同じように彼らを許すことも祈って下さい。あなたに感情的な強さがあれば、あなたの許しを他の人に伝える手紙を書いたり、電話をかける必要があるでしょう。

#### 5・後悔とともに生きる

一度神の許しを求めたなら、その罪の意識を捨てなければなりません。孤独を感じたり、憂鬱な時にその罪悪感を再び引き出し、それは主の許しの力に対抗しようとするサタンの罠です。しかし、あなたは中絶がもたらした結果である後悔、自責の念、喪失感に苦しみ続けるでしょう。

これらは罪悪感の一部ではなく、あなたの間違った決心の自然の結果です。ここに、あなたが自責の念に苦しむ時役立つ6つの実際的な助けがあります。その時を独りで過ごす。その時を20分までにする。それ以上は費やさない。

神を讃える崇高な音楽を聴く。

聖書を用いる。神の誠実さを示す言葉を黙想する。

(テモテ 2:13 / 箴言 9:9・36:5 / 哀歌 3:23 など)

あなたの救い、あなたの人生、神の慈しみのすべてに感謝する。許しを再び求めるのではなく、すでにそれがなされていることに感謝する。

聖霊があなたの魂を引き上げるのにまかせ、その時が終わったらそれ以上悩むのはやめる。何か活動的なことを見つけてみる。神との関係が深まるにつれ、この「後悔の時」の訪れや激しさは必ず減ってくる。このことを忘れてはいけない。

#### 6・確信を持ち続ける

命を取り、しかも神が力強い方法で用いられた人々のことを覚えて下さい。モーゼやダビデのことを忘れないで下さい。神はあなたの人生にもまた御

計画を持っておられます。英知を祈り求め、主の導きにあなただけをゆだねるので



## 国内二ニュース

### 《障害児を育てる

#### 喜びを知って》

16日付け声欄の「差別語に甘い婦人福祉団体」の中に、「だれが好きこのんで障害児を産み育てることがあるつか」という、あまりに無神経と思える表現がありました。障害児はそれほど嫌われものなのでしょうか。

障害をもって生きることは並たいていのことではないし、育てる側も苦労が多いのは事実です。しかし、また喜びもそれ以上に大きいのです。障害児を産むことにビクビクしているのは不幸なことといえます。

私は15歳で障害者となりましたが、それ以前はやはり障害者は不幸だと思っていました。私はその間違った思い込みのため

に、私の人生は15歳で終わったと思うほどみじめな何年間かを過ごしました。しかし段々と分かってきました。不便と不幸は違うのだと。

また、私の娘は二級の難聴で小学二年生です。小さい時から言葉の学習につらい思いをしてきました。でもとてもおしゃべりで、好奇心が強く、人間が大好きな子に育ちました。

障害の原因は風疹です。医者にも周りの人にも中絶をすすめられましたが、私はとりあわずに産みましました。「無責任」とも言われました。でも私には「障害児かも知れないから産まない」という選択はできませんでした。そして今もこれでよかったと思っています。

社会があたりまえのように障害児を受け入れ、母親たちが五体満足でさえあれば「などと願わなくてもよい世の中を望みます。

朝日新聞「声」欄より

1990.5.24

## 国際二ニュース

### 【中絶賛成派メディア】

アメリカの主要なニュース・メディアが一年半かけた調査の結果、中絶に対して好意的な見方をしている人がかなり多いという意外な発表をした。詳しい結果はロサンゼルス・タイムズ紙に掲載された。しかし、公表されたこの結果は、内容、口調、言葉の使い方や芝居があったところなど、中絶反対を訴える人々にとって非常に公正ではないことばかりが取り上げられているということである。

### 【フランスの安楽死論】

元政府の健康省閣僚でもあったある医者が、「治る見込みのない患者を死に至らす手助けをした」という理由で業務停止を言い渡された。インタビュでその医者は、同じような方法で他にも「助けた」患者がいたことを告白している。また、定期的に安楽死を行う病院が今日のフランスではいくつもあることも語っている。今回の事件は、安楽死についての国民的な議論を巻き起している。

### 【安楽死合法化を検討中】

ベルギーでは中絶が合法化されて4カ月も経たないうちに、今度は安楽死を合法化しようという動きが出始めている。最近公

表されたある調査によると、国民の3分の2以上が「患者が望めば医者はその患者の治療をやめる権利がある。」と信じているという。また、インタビュに答えた人のうち4分の1以上が、患者の家族が望めば治療を止めてもかまわないとしている。この調査は、政府機関の社会問題省からの依頼で行われた。生命保護団体はこれらのやり方に遺憾の意を示している。

### 【中絶討議再開】

ポーランド政府の上院は、中絶に関する討議を再開し、生まれてこようとしている赤ん坊の法的地位を認め、中絶を手助けした者に対して3年間の拘留刑、女性に中絶を強制した者に対して8年間の拘留刑を科す法案を検討することになっている。ポーラ

ンドのカトリック司教は、中絶という犯罪を当面の行いとし、人間の良心をひどく腐敗させたとして現在の法律を「悪の協力者」と呼んで非難した。

## 読者の声

長い間、ビデオ・本をお借りしてありますが、ございました。今まで、一言に「中絶」といつていたもののおもみを改めて感じさせられました。私なりの考え方をしっかりと持つべきだと実感させられ、また安全で手軽(?)といわれている現在の中絶の実態を知り、決して、そうではなく、医学では解決しきれない多くの事柄を知りました。どうもありがとうございました。

1991・2・28

(医大生)

いつも貴重な資料を届けていただき心より感謝しております。ファイルしてとっています。

さて、結婚講座用として、「沈黙の叫び」「ピリングズ・メソッド」のビデオ

を注文いたしますので、お手数をかけますが、ご送付願います。

(滑石カトリック教会)

いつもニュースを楽しみに拝見し、学生達にも見せております。又、ビデオも様々に利用させて頂いております。こうした運動がますます広まりますよう心よりお祈り申し上げます。

(カリタス女子短期大学)

## 神様のプレゼント

中絶手術のショックキングなビデオを見たことがあります。胎児の頭をバキュームカーのホースみたいなもので吸い込むのです。胎児が子宮の中で逃げ回っていました。胎児は、母親のお腹の中で立派

な人間として生きています。意思表示もするのです。それを解っている女性が何人いるでしょうか。結婚を秘跡としてとらえる人は、子供を神様からの授かりものとしてとらえるはずです。神様のプレゼントを粗末にするはずはありません。

(宮津教会 高橋詞子)

## 親の最初の「つとめ」

私は、この8月で40歳になる母親です。中3の長女、小6の次女、小2の長男に恵まれました。長女は結婚して、すぐ出来ました。が、後の2人は、欲しいと思った時には出来ず、もうあきらめた時、不思議と身ごもったものです。やはり、子供は「作る」ものではなく、「いただく」ものだという思いを強くしまし

た。このいただいた生命を、大切にすることこそ、親の最初の「つとめ」だと思います。

(宮津教会 杉本友子)

## 若者の声

### ビデオ：沈黙の叫び

お母さんのお腹の中で

聖書の時間にビデオを見て、何度も目を閉じました。何度か話は聞いていたけれど実際に見るのはとてもショックでした。胎児が、子宮の中で逃げるなんて、まして叫んでいるなんて思いもせませんでした。一番安心できるお母さんのお腹の中で殺されるなんて……。

私は産んでくれた母に「ありがとう」と言いたいと思います。

(千々岩敦子)

どんなに嫌がるでしょうか

中絶というのは、無抵抗な人間を、こっちの勝手な判断で殺してしまうという恐ろしいことだと分かりました。まだ生まれてなくても、ちゃんと一人の人間です。もししゃべれるなら、泣けるなら、どんなにいやがるでしょうか。一人の人間の命は何にも代えられないほど貴重なものです。私たちは、その命を守る義務があると思います。

(田口弥花)

人間としか言いようがない

二年の時、保健の時間に近藤先生に、こういうビデオを三年になったら見せられると聞いていて、そんなにシヨックを受けるものかなあ、と思っていた

し、中絶とがする時点で赤ちゃんを人間とみなすかみなさないかの問題も、そんなの自分に分かるはずない、と避けて、真剣に考えたことがなかったが、見て、赤ちゃんは人間としか言いようのないことが分かった。殺される赤ちゃんを見て、本当にかわいそうだと思った。人間扱いしなかった人も、このビデオを見れば、きっと人間と認めざるを得ないだろうと思った。とても貴重なビデオを見れてよかった。

(木村弘子)

## 無垢な人々

新年を迎えるにあたり、私はもっぱら生命尊重運動の将来について、また死をもたらず悪魔がこの世を支配した場合に私たちがもたらさなければならぬ劇的な変化について考えるようになった。答はパウロのエフェソ人への手紙にはつきりと書かれている。それは、主キリストが私たちに与えて下さった勇氣と慈悲をもつて敵に真っ向から挑む力にある。

悪の手は野蛮で絶望的な復讐をもって無垢な人々に忍び寄ろうとしている。無言の人を餌食にし、純真な人を困惑させ、私たちの真実への誓いをけなすと同時に聖なる神に対しても罵りの言葉を浴びせる。この世の歴史が始まって以来常にみられてきたように、これらは紛

れもなく悪質の仕業である。悪に対する答えは私たちの心の中に潜んでいるのである。

生命尊重運動に賛成する人は、より一層情熱を込めて祈りを捧げなければならぬ。さらに、求められればいつでも応じることのできる勇氣を育てて

を見失っている人々に真実を告げるために必要な力と言葉と共感を神に願いつつ、私たち人間がいかに脆く、一人一人の努力ではどうにもならないことでも神にすべてをゆだねることで何もかも可能になることを忘れてはならない。

おかなければならない。現在では、今のような中間的な解決策では、問題と取り組むことができない。私たちはキリストの十字架上の死からも、大衆に受け入れられやすいことが私たちの使命ではなく、そうなり得ないことも学んでいる。あまりにも多くの子供が母親の体内で死んでいるし、あまりにも多くのものが失われているがその間にも時間は過ぎ去っているのである。

私たちの目標は単純なものだ：すべての無垢で潔白な人々が殺されることのないように死から守ることである。これは今日のみが存在する近視眼的なものではなく、私たちの目標は正しく、動機も十分根拠のあるものであり、新

そこで私たちは、今、私たちの任務をあらためて神にゆだねることを決心しなければならぬ。真実

キリストの跡に倣って歩む時、私たちは個人的には挫折を感じることがあるかも知れないが、私たち

の正義は決してくじかれることはない。

日本プロ・ライフ・

ムーブメント

(中絶に反対する運動)

代表者:

ノボトニー・ジェリー

OMI

## ABORTION

### QUESTIONS & ANSWERS

「全ての女性には自分の身体を支配する権利がある」という意見についてどう思いますか。

法律によって私たちは、全て自分の身体を支配する権利を持っています。但しそれは、ある一定の限度までです。例えば、私は合法的には自分を殺してしまつような薬を飲むことはできません。法律によれば、私は私の邪魔となる人々を故意に殺してまで自分の身を守ることはできません。

同じことが女性にも当てはまります。彼女に自分の身体を支配する権利があるのは確かです。けれども妊娠したなら、その人間が彼女の体内に存在しているにしても、彼女にはもう一人の人間の身体を支

配する権利などないのです。

いったん妊娠してしまえば、彼女の身体だけの問題ではなくなります。彼女の身体と、彼女の中で生きているもう一人の身体についての問題になるのです。女性には自分の身体を支配する権利があると主張する悲劇的結末は、子宮を殺人の行われる場にしてしまうのです。

## 《事務所だより》

街にはにぎやかにジングルベルの曲が流れ、店には人の心をそそるような品物があふれています。飽食の真っ只中に生きている私たちにとって、クリスマスはどういう意味があるのでしょうか。馬小屋でひっそりとイエスさまを生んだマリヤさまの心を私たちは本当に理解できるのでしょうか。

今年、日本で「国際生命尊重会議」が開かれ、胎児の人権宣言がなされました。これは生命尊重運動に関わる私たちにとって大きな喜びでした。この運動の波紋をさらに広げ、物質・経済至上主義の社会に多くの問題を問い続けなければならぬでしょう。読者の方からも色々なお便りをいただくようになりまして、ご意見やご要望一つ一つ丁寧に読ませ

ていただいています。また学校関係からの反応も増えました。教育はとても大切で大きな力です。皆様一人一人の努力に支えられて、またこの一年も確実な一歩を歩むことができた。本当にありがとうございます。新しい年に希望をたくして、来年もどうぞよろしくお願いいたします。

プロ・ライフ・

ムーブメント

